

## 業務実施要領

- ① 当該ダクト等の経路、構造、天井点検・作業口の取付けの適否を十分調査する。
- ② 施工に先立ち、当該ダクト等の既存状態を調査・記録(記録写真等を含む)する。  
なお、調査・記録する場所は各室及びダクト系統毎とする。
- ③ 対象設備は別添図面による。
- ④ 作業機器の据付場所は、騒音対策、ほこり等の飛散防止策を考慮した場所とし、病院の承諾を受ける。
- ⑤ 清掃に使用する資機材の搬入時及び清掃時における天井、壁及び床ならびに室内における机什器、備品、OA機器等の汚損等を防止するためフィルムシートによる養生等を行う。
- ⑥ 清掃作業時は周囲に粉塵等が飛散しないような防止策(ビニールカーテン養生など)をとること。
- ⑦ 吹出口は取外し、作業終了後に現状復旧する。尚、再取付前には、中性洗剤にて洗浄を行う。
- ⑧ 当該ダクトの内面に付着したほこり等の除去、清掃、確認作業については、採用した工法の規定による。
- ⑨ 施工にあたっては、既設天井、ダクト、ダンパー等の強度、耐久性、機能性に影響を与えないようにする。
- ⑩ ダクト内の粉じんの捕集方法は、集じん装置等により適切に捕集する。
- ⑪ 再熱コイル(BH)に付着したほこり等の除去は高圧エアーにて清掃を行い、粉じんの捕集方法は、集じん装置等により適切に捕集する。
- ⑫ 清掃に使用する集じん装置等は排気がHEPAフィルタで処理される仕様のものとする。
- ⑬ 作業に伴い、ダクトに開口部等を設ける場合は、必要最小限なものとし、作業終了後の修復は開口部を鉄板等にて閉鎖しコーキング、ビス及びリベッター止めにて密閉確保し、アルミテープ及び断熱材にて上から補修を行う。
- ⑭ 所定の清掃作業終了後にダクト系の機能を調査確認する。また清掃後のダクト内面の状態を記録(記録写真等)する  
なお、記録する場所については前記の記録する場所と同一箇所とする。